

【評価実施概要】

事業所番号	277010691
法人名	医療法人 錦秀会
事業所名	グループホーム 清泉
所在地	大阪府堺市南区豊田 1 7 4 8 - 2 (電話) 072-297-9411
評価機関名	特定非営利活動法人 カロア
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1 四天王寺堀越ビル カロア事務局
訪問調査日	平成21年12月17日

【情報提供票より】(平成21年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年 11月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	15 人 常勤14人, 非常勤1人, 常勤換算15人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	1 階建ての ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(150,000円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,400 円			

(4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	2	要介護2		7	
要介護3	6	要介護4		3	
要介護5	0	要支援2		0	
年齢	平均 83.4 歳	最低	68 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 錦秀会 阪和第一泉北病院・阪和第二泉北病院
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

泉北ニュータウンの小高い丘の上にホームがあり、交通の便もよく、駐車場も広くて、車でアクセスしやすい場所です。また、ホームの周囲には桜並木があり、家庭菜園などの緑に囲まれ、家庭的な雰囲気のあるホームです。近隣には病院、保育所などの社会資源もあり、地域の中で住み続けるということについて、非常に住みやすいホームです。その上に、職員も医療職が中心となって率先して生活面の充実にと取り組んでおられます。又、口腔ケアにも力を入れておられ、歯科衛生士の実習受入等も行っており、ホーム全体で取り組んでいる様子がうかがえます。特に大きな強みとして、母体が医療法人ということもあり、病院との連携が密接に取られています。グループとしても大きな法人ではありますが、その法人全体でサービスの質改善に取り組んでおられます。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での課題として、地域とのお付き合いをより深めるための取り組みと家族会の発足があがっていました。地域とのお付き合いの部分では関わり方の検討をしている段階です。また、家族会については行事の後に開催し、参加いただけており改善されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 外部評価について職員間で話し合いを行い、日々の業務についての振り返りがなされています。また、その外にも、法人内でサービスの質を評価・改善する取り組みとして、苦情やリスクについての検証がなされ一覽で分かるようにまとめておられます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 2ヶ月に1回の頻度で開催されています。行政、自治会、家族、利用者、他ホームの職員など、数多くの出席があり、活動報告や意見交換が活発に交わされています。また、グループホーム連絡会に、地域包括支援センターにも介入してもらい、各在宅サービスの相談事業所と連携しながら研修や連絡会を開催し、サービス向上に向けて取り組んでいます。また、制度関連の情報も確認しあっています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族へは年4回報誌を発行し、行事の報告や日頃の様子が分かるように写真付きで伝えられています。健康状態は状態の変化によって随時連絡を入れ、面会時にも近況報告をされています。また、運営推進会議に家族の出席を積極的に依頼し、出席され、運営への参加がなされています。また、行事ごとに家族会を開き、意見や要望を聞く機会を設けています。面会時にも、意見を言いやすいようにスタッフとの関係作りをし、積極的に取り組んでおられます。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域ボランティアの受入や子供たちとの交流、小学校の登校の見守り隊への参加、地域住民の介護相談等地域との交流に向けて積極的に活動されています。

2. 調 査 報 告 書

主任調査員氏名 安宅川 澄士 / 同行調査員氏名 田端 孝次

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体法人の理念「やさしく命を守る」から、ホームとしての理念「認知症になっても地域の中でその人らしく、ゆったりと穏やかに暮らせるよう、その人の生きる力を支援し、いきいきとした生活を築く」ということを掲げ、当たり前の暮らしの支援に努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニットの玄関に理念を掲げ、出入りする時は誰にでも目が付くように配慮されています。また、事業計画書を配布することにより、職員間での理念の共有を図っておられます。毎月理念に沿った目標を打ち出し、達成に向けて取り組まれています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域ボランティアの受入や子供たちとの交流、小学校の登校の見守り隊への参加、地域住民の介護相談等地域との交流に向けて積極的に活動されています。		地域の青年団や老人会との関わりについて、タイミングが合わずに十分な交流が図れなかったとのことですが、今後のサービスの幅を広げる意味でも良いお付き合いが出来るよう工夫されてはいかがでしょうか。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用	外部評価について職員間で話し合いを行い、日々の業務についての振り返りがなされています		

4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	す。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の頻度で開催されています。行政、自治会、家族、利用者、他ホームの職員など、数多くの出席があり、活動報告や意見交換が活発に交わされています。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	グループホーム連絡会に、地域包括支援センターにも介入してもらい、各在宅サービスの相談事業所と連携しながら研修や連絡会を開催し、サービス向上に向けて取り組んでいます。また、制度関連の情報も確認しあっています。		
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	年4回広報誌を発行し、行事の報告や日頃の様子が分かるように写真付きで伝えられています。健康状態は状態の変化によって随時連絡を入れ、面会時にも近況報告をされています。また、金銭に関しては月1回請求書にレシートを同封し明確に対応されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族の出席を積極的に依頼し、出席され、運営への参加がなされています。また、行事ごとに家族会を開き、意見や要望を聞く機会を設けています。		
		職員の異動等による影響への配慮	ユニット間の移動はありますが、必要最小限に留め、職員は混乱を生じないように意思疎通を図り、		


9	18	<p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者への配慮がなされています。また、担当職員が変わった場合でも、他職員で対応できるように全利用者の把握に努められています。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修計画が立てられ、内外での研修が頻繁に実施されています。伝達研修や申し送りにより職員に周知できるよう努めておられます。また、管理者は現段階より、もっとたくさん研修の機会を確保したいと前向きに取り組んでおられます。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>堺市全体と南区内の事業所連絡会が定期的開催されています。同業種との交流が盛んに行われており、入居待ちのネットワーク作りがなされており、必要があれば情報を伝え、必要なときに早期に入居できるよう配慮されています。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に見学の機会を設けて事前の説明を十分行い、安心してホームに入居できるように工夫されています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p>	<p>洗濯物を干したり、自室の掃除など、予め役割分担された中で、入居者のできることを奪わずに配慮しながら実施されています。また、入居者間の</p>		

13	27	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	感情的になる部分もプラスとして捉え、当たり前の人付き合いが出来るようにさりげなくサポートできるよう取り組まれています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者、家族からの普段の会話の中から情報を得て、把握に努めておられます。また、聞き取りの困難な場合も普段の行動や、随時の分析によって得た情報をケアに反映されています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	課題とケア内容など、現状の把握も含めてサービス担当者会議で話われています。しかし、最近入居者の重度化がすすんできたこともあり、今まで出来ていたアクティビティなども十分にできないこともあるようです。		意向の把握は十分にされていますが、ケアの段階での役割分担をご家族も含めて担当者会議を開くなど、ご家族の関わる場所を作っておくなど工夫されてみてはいかがでしょうか。
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的にモニタリングがなされ、その都度の状態により意向の変化や、ニーズの充足度について把握されています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
		事業所の多機能性を活かした支援	急変時には、迅速に受診介助を行い、法人内の病院や近隣の病院との連携の中、速やかに入院		

17	39	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	できるようなサポートが出来る体制をとっております。また、夜間帯でも法人内の病院との連携で看護師とオンコールできる体制をとっております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望する医療機関で受診できるように配慮されています。また、歯科についても年に2回検診を行っており、口腔ケアには特に力を入れておられます。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	開所当初から約半数の入居者の入れ替わりがあったそうですが、現段階では終末期を迎えられた方はおられないとのこと。状態の変化により、早期に係り付け医との連携により、その後の暮らしについての話し合いが行われています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員全員が心地よい言葉づかいを行い、笑顔で接することを心がけておられます。記録の扱いについても十分に配慮されています。また、接遇についての研修も実施されています。		
		日々のその人らしい暮らし	また、その人らしさを大切に、役割を持っていただくための配慮やお部屋で過ごしたい方、リビン		

21	52	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	グで過ごしたい方など、人によって見守りの中の対応が行われています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食、ホーム内で作っており、準備や片付けなど能力や得意分野など分析した上で役割分担をされています。誕生会や行事は特別メニューにしたり、外食会を企画したりと食事が楽しみとなるような工夫がなされ、献立も季節感が味わえるものとなっています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には2日に1回となっていますが、希望があればいつでも入浴できるようになっています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	植物のお世話や、手作りの工夫されたカレンダー作成など、日時等がわかるような配慮がなされ、それぞれがすすんで活動されている様子がうかがえます。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	以前に比べて活動を支援する時間を確保するのが難しいようですが、重度化がすすんでも、可能な限り散歩や喫茶に行くなどの個別対応をすすめておられます。		
(4) 安心と安全を支える支援					
		鍵をかけないケアの実践	居室、玄関、外門には、昼間は常に開錠されており、鍵をかけることの弊害を職員が理解し、危		

26	66	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	険防止に努めておられます。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署の立会いにより、昼夜を想定しての訓練を実施しています。また、それ以外の自主訓練もされており、地域住民や家族の参加もなされています。また、早期にスプリンクラーの設置もなされています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は母体医療機関の栄養士に相談しながら作成しています。また、一人ひとりの適切な食事量と水分量の記録をとり、把握がなされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースは広く、採光も豊かです。広いリビングやダイニングで、それぞれ、入居者が穏やかな雰囲気でお過ごしです。また、掘りごたつのある和室も準備されており、昔からなじみある環境で過ごすことも可能です。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人にとってなじみある品物を持ち込むことは可能で、ベッドや布団の選択もできます。居室内はプライベートな空間ということで、画一的でなく個人個人に配慮された配置となっています。		

 は、重点項目。